

带状疱疹ワクチン

青葉アーバンクリニック (2022年11月作成)

带状疱疹は水痘(みずぼうそう)のウイルスが原因でおきる病気で、体の様々な部位に非常に痛い発疹が帯状に出現し、重症の場合は入院を要します。高齢になって免疫が低下した時に带状疱疹を発症する可能性があり、80歳までには、約3人に1人が带状疱疹にかかると言われています。予防接種を受けることで病気の発症、重症化、後遺症の带状疱疹後神経痛を減らすことができます。また、带状疱疹は約6.4%に再発が認められるため、带状疱疹にかかったことがある人の再発予防としても予防接種が有効です。

带状疱疹のワクチンは下記2種類があります。尚、どちらのワクチンも接種可能な方であれば、費用は高いものの、医学的には効果の高いシングリックスをお勧めしますが、迷われた場合には、一度、当院医師にご相談ください。

<2つの带状疱疹ワクチンの比較>

ワクチン名	シングリックス	ビゲン
带状疱疹に関する 詳細情報に関するQRコード		
ワクチンの種類	不活化ワクチン	生ワクチン
費用(税抜き)	23650円/回	8500円
接種回数	2回	1回
接種方法	筋肉注射	皮下注射
効果		
発症抑制率		
50歳代以上	97.2%	51%
70歳代以上	89%	37.6%
神経痛(後遺症)抑制率		
50歳代以上	89%	66%
持続性	データのある4年後で84.7%	7~8年後で21~32% 9~11年以降は期待できない
副反応		
痛み、発赤、腫れ	9.4%	0~4%
発熱、だるさ、筋肉痛	10.8%	1%未満
対象者	50歳以上の成人に2か月以上あけて (~6か月以内に)2回接種	50歳以上の成人に1回接種

(注)ビゲンは、生ワクチンのため、妊娠中、免疫に異常のある方(免疫不全)、免疫を抑える薬を飲んでいる方は、接種できません。また、接種後2ヶ月間は避妊が必要です。

◆どちらのワクチンも、特に高齢者施設に入所中の方、脾臓がない方、基礎疾患(心臓や呼吸器の慢性疾患(心不全、肺気腫、喘息など)、腎不全、肝機能障害、糖尿病、慢性髄液漏など)のある方には、特にお勧めします。

◆免疫不全(HIV、無脾症、骨髄腫、固形臓器移植など)のある方、免疫を抑える薬(ステロイドや免疫抑制剤など)を飲んでいる方は、生ワクチンであるビゲンは接種できませんが、不活化ワクチンであるシングリックスは、比較的安全に接種できるため、ご希望の方は、医師に相談しましょう。

★ご不明な点がございましたら、医師にお気軽にご相談ください